



10月号

# 園長だより

H28. 9.30  
新渡戸文化子ども園

「子ども」と「物語る」

子育てや保育に参考になる文章を見つけました。ご紹介いたします。

## 子どもを物語るって

子どもを物語ることは、楽しい事です。ドキドキ、わくわくします。 難しい事です。正解というものはありません。

子どもを物語ることで、自分や誰かが強められることがあります。自分や誰かが 傷つくことがあります。

子どもを物語っていると、ふと、昔の私に出会うことがあります。ふと、今の私に気づくことがあります。

子どもを物語る時、決めつけてやしないかと不安になったりします。冗長になってしまって、後で苦い想いをする場合があります。

子どもの物語が、人と人をつないゆきます。人と人を遠ざけてしまうこともあります。

子どもの物語は、うまくやろうとすると、足元をすくわれます。真心をこめて物語っていても、必ず報われるとは限りません。

子どもを物語り続けていると、勇気が必要な時が必ずあります。感謝される時が必ずあります。新たに出会う子どもたちへの態度を柔らかにします。

子どもを物語ることは、子どもをよく見ることです。子どもから学ぶことです。子どもについて考えることです。

「そして、子どもを通して見ることです。」

子どもを通して世界を見ると、私たち人間にとって大切なものが見えてきます。

子どもを物語ることは、日常であり、自然です。誰にでもできることです。

最後に一子どもを物語るることについて書き留めておきたいことがあります。

子どもを物語る時は、「どうしても自分の言葉で語ることです。」言葉はその人自身です。

子どもの物語に 泣いて 笑って 今日 明日

(保育ナビ9月号小西貴士執筆コラムより抜粋)

つぶやき (年少組・女兒)

9月19日敬老の日を前に、お帰りの会で先生が

「19日(月)はおやすみです。何の日か知っていますか？」

迷いなく大きな声で「父の日！」

(お父さんが好きなんです。笑顔になりました。)

つぶやき (年長組・女兒) 誕生会後お部屋へ移動中、友達にしっこくされ

「やめて！いやだから！やめてください。」

以前は言えずに困り涙ぐむ事が多かった様子だったのでその成長ぶりを

「始業式でお約束したアウトプットができるようになりましたね。きちんと自分の気持ちが言えるようになったのですね。」と、良い所を捉え褒めると、自信に満ち溢れた表情をしていました。年長組、運動会の活躍も楽しみです。



